

Welcome to 授業

教職入門七三一

【教育学部】



教職の内容・意義を小集団で学ぶ

この科目は、教職（教員の職務）の内容や意義を、主に、附属学校教員による講義、学校見学、意見発表及びグループ討議を通して体験的、活動的に学ぶ科目です。また、授業では、学生は学部・学科・課程・専攻を越えた20人前後のグループに分かれ、そこに教員が1人ずつ配置され、小集団を基礎として学習が行われています。

教員から

授業は、教育学部附属幼稚園・小・中・特別支援学校教員による教員の仕事や子どもの様子に関する講義に始まります。感想では「生の声が聞けてよかった」、「視野が広がった」と記され、教職について学びきっかけになっています。

講義につづいて、公立小・附属学校見学を合計3回実施します。見学日には、昼休みに学校へ行き子どもと遊び、その後に授業を参観します。また、3校を見学することにより、自ずと学校、教員の取り組みを比較しています。感想では、「教師の視点で子どもを見ることができた」、「子どもとふれあうことができ、学校現場をリアルに感じる事ができた」と記され、学校や子どもの様子、教員の職務についてリアルなイメージを持つことができるようになります。

講義と見学をふまえて「どんな教師になりたいか」について一人ずつ意見発表を行い、さらにグループ討議を行い、各自の見方・考え方が問われ、交流により理解を深めていきます。感想では、「いろいろな人の意見を聞くことで、今まで気づかなかったことに気づいた」、「他の人の意見・考えを聞くことができ、参考になった」と記され、各自の教育観、学校観、教員観を構築していく、よい機会になっています。

教育学部准教授 丸山 剛史



学生から

（平成21年度受講生）
教師入門セミナー（ ）では、現職の先生方の講話や附属小学校・公立小学校の見学

を通して、教育現場の実情や教師のあり方について多くのことを学びました。特に学校見学では、初めて教職の意義や授業展開などに注目しながら授業観察を行い、教師の存在が子どもたちに与える影響の大きさに改めて気づくことができ、また教師に対する考え方が変わるような、とても貴重な体験をしました。

学校教育教員養成課程2年 福田さつき

教師入門セミナー（ ）は、教師を目指す、同じ志を持った仲間とともに教育について討論することができる場です。また、学校見学で実際に現場の教育を肌で感じ、

現場の教師による講義やグループでの話し合いを通し、改めて自分の目標とする教師像を見つめ直し、教育について生の体験から再考することができる、とても貴重な時間です。私はこの機会があったおかげで、改めて教師の重要性やその影響力の大きさを再認識し、より教師になりたいという気持ちが強くなりました。

学校教育教員養成課程2年 長谷川史織

平成22年度から「教職入門セミナー」に科目名変更。



授業を担当する教員たち

【写真撮影：写真部 沼田要輔（農学部4年）】